



秋田県消防学校の初任教育第六九期入校式が四月一〇日(金)、県内一三消防本部から八〇名の入校生並びに来賓、家族など二四〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、国歌斉唱の後入校生の名前が一人ひとり発表され、保坂雅弘校長が式辞を述べました。

続いて、堀井啓一秋田県副知事、草薨忠誠秋田県消防協会副会長、森合和美秋田県消防長会長(秋田市消防長)が入校生を激励、入校生を代表して鹿角広域行政組合消防本部奈良春樹消防士が宣誓を行いました。

入校生は、九月一八日(金)までの約半年間、寮で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の習得、厳正な規律、旺盛な気力と体力の錬成などの教育訓練を受け、警防隊員として活動できる能力を養成することになります。

# 第六九期 初任教育入校式

八〇名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校



題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十七年全国統一防火標語  
**無防備な  
心に火災が  
かくれんぼ**

今年度も女性消防士五名が入校し、これで八年連続の三一名となりました。

## 校長式辞(要約)

消防士として、新たな一歩を踏み出しました皆さんのご入校を、教職員一同心から歓迎いたします。

さて、先の東日本大震災で国民皆が目にしたように、近年の災害は、多様化、複合化、大規模化しております。どのような状況下であろうとも、消防の任務は、住民の生命や身体、財産を守り、安全を確保することに尽きます。

それだけに、消防に対する住民の期待は実に大きく、消防職員には、火災や救急に止まらず、各種の自然災害、大規模災害等への迅速で的確な対応が求められております。

また、想像を絶する災害現場で活動するためには、心身ともに健康であることに加え、逆境に耐えうる精神力や忍耐力が必要であり、様々な技術や訓練を体得しなければなりません。

ここでの教育訓練においては、危険回避や注意喚起のために、教官が厳しく指導する場面が必ずあります。学生諸君、どうか入校期間中は、怯むことなく強い信念を持って、必要な知識や技術の修得に全力で臨んでください。

## 入校生宣誓(全文)

私は、初任教育第六九期学生として、入校の意義と消防の責務を自覚し、校則を守り、和を尊び、規律ある学校生活を通じて、勉学研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶につとめることを誓います。

平成二十七年四月一〇日

鹿角広域行政組合消防本部

消防士 奈良 春樹



保坂校長



入校生宣誓

初任教育第69期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

伊藤 康平 佐々木 翔  
棚谷 慎太郎 田口 宗人  
石川 泰寛 政岡 沙綾

大館市消防本部

本城 駿 三浦 大和  
大森 柗

北秋田市消防本部

佐藤 健翔

由利本荘市消防本部

三浦 圭悟 佐藤 将斗  
真坂 公章 木嶋 諒斗

にかほ市消防本部

安倍 真一郎 田 仲 純平

横手市消防本部

高橋 涉 平塚 龍聖

五城目町消防本部

中道 聖也

鹿角広域行政組合消防本部

木村 匠

能代山本広域市町村圏組合消防本部

伊藤 二十岳 田 貴浩  
佐藤 翔 佐藤 雄司

湖東地区行政一部事務組合消防本部

鳥海 颯汰

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

鈴木 智裕 田中 謙也  
吉田 光佑

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

武石 駿帆 藤井 和磨  
栗谷川 大地 石橋 瑞翔  
佐々木 将吾 藤田 航平  
山形 駿 赤倉 巧也

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

高橋 宏和 斉藤 創史  
加藤 芙実華 佐々木 祐哉

【2組】

秋田市消防本部

佐々木 克敏 鈴木 央  
浅野 颯太郎 井上 拓也  
村上 睦毅 石井 雅也

大館市消防本部

小林 豊和樹 奈良 大那  
斉藤 祐人

北秋田市消防本部

齋藤 将太

由利本荘市消防本部

蒲野 孝次 佐々木 翔平  
北島 和明 菅原 康平

にかほ市消防本部

須藤 歩夢

横手市消防本部

佐藤 恵太郎 高橋 拓緯  
高橋 布裕子 小松谷 岳瑠

五城目町消防本部

館岡 拓海

鹿角広域行政組合消防本部

奈良 春樹 大角地 泰輝

能代山本広域市町村圏組合消防本部

工藤 拓真 工藤 秀平  
藤田 歩 藤田 拓真

湖東地区行政一部事務組合消防本部

畠山 卓真

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

渡部 裕子 渡部 勇貴

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

富岡 卓矢 茂木 康然  
佐藤 勇成 伊藤 涼佑  
赤倉 匠 伊藤 聡  
太田 和寿

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

武田 俊高 谷藤 東梓  
伊藤 優人 畠山 梓



草薨消防協会副会長



森合消防協会会長

秋田県消防学校職員名簿

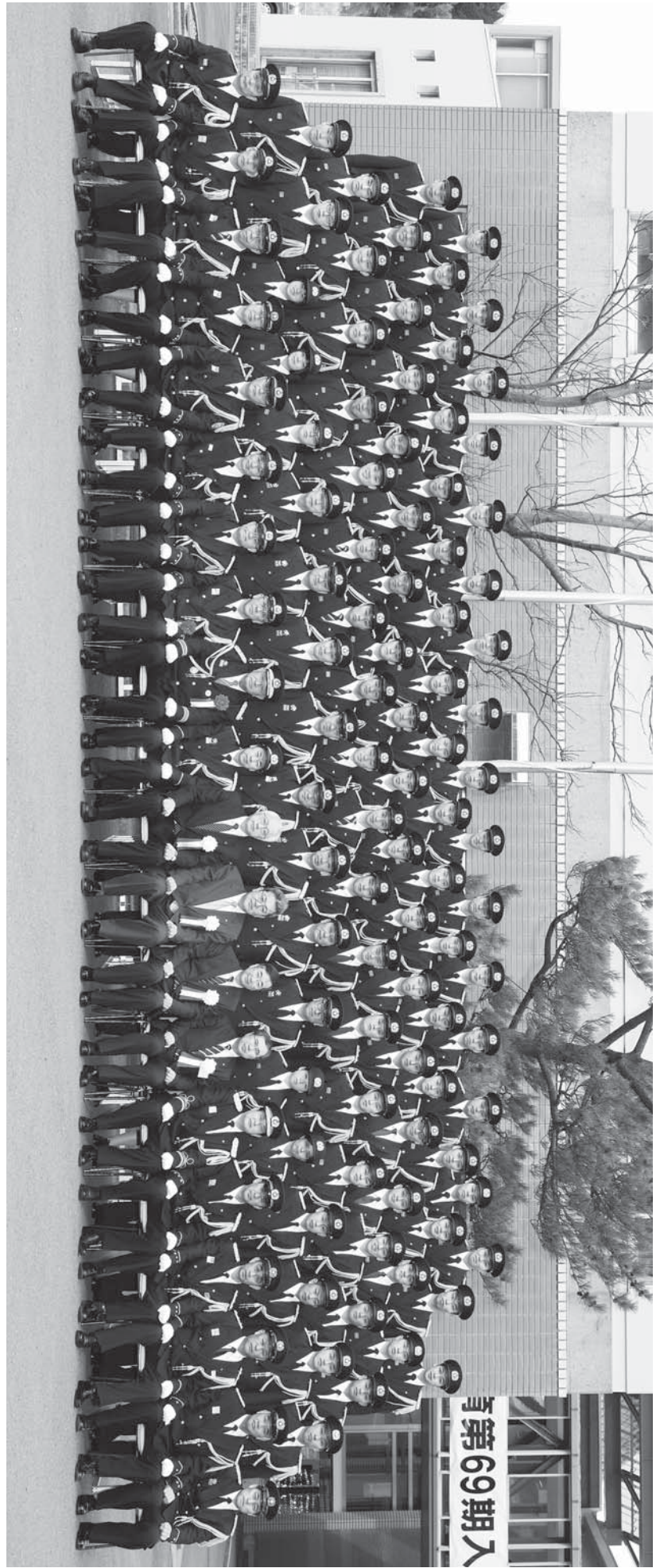
校長 保坂 雅弘  
副校長 越後屋 光晴

総務班

主幹・班長 大高 直樹  
主任 佐藤 弘康  
主任 伊東 絵美  
技能主任 篠田 均寿  
舎監 長谷部 秀二  
舎監 猪俣 秀二  
防災学習館説明員  
高橋 博  
佐藤 伸子  
田中 裕子

教務班

副主幹・班長 大野 光徳  
副主幹 伊藤 均樹  
副主幹 佐藤 和則  
副主幹 小笠原 伸一  
主査 佐藤 純人  
講師 大澤 善樹  
講師 樋渡 善統



## 秋 田 県 消 防 学 校 平 成 27 年 度 教 育 訓 練 計 画

秋田県消防学校では、消防団員を対象とした教育訓練を行っています。そのうち基礎教育第61期、幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第2期の実施要領を紹介しますので、参考にいただき、多くの団員が受講されることを期待しております。

なお、受講希望者は市町村消防団係にお問い合わせ下さい。

消防団員基礎教育第61期		教育課程	幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第2期	
入団して概ね3年未満の消防団員に対して、基礎的教育を行う。		目 的	分団の指揮者としての職責を自覚させ、消防団の管理運営等、広い知識を持たせる。	
団員の階級にある者		対 象 者	分団長、副分団長の階級にある者	
平成28年3月5日(土)～6日(日)		教育期間	平成28年2月27日(土)～2月28日(日)	
教科目 (教育内容)	時間数	教科目及 び時間数	教科目 (教育内容)	時間数
訓練礼式(各個訓練、小隊訓練、通常点検要領)	2		講話(職責と心構え)	1
組織制度(消防団の組織制度)	1		防災(災害基本法と消防団の役割等)	4
ポンプ操法(消防ポンプ操法)	2		安全管理、組織制度(公務災害補償制度の概要、消防団組織の現況等)	1
火災防ぎよ・安全管理(火災防ぎよ、安全対策)	2		災害対応図上訓練(分団本部活動・管理運営要領、部隊等の安全管理等)	4
防災(災害対策)	1		事例研究(消防団の充実強化及び活性化事例等)	1
救急救助(応急手当、基本結索)	2		行事その他(入校式、修了式等)	1
行事その他(入校式、修了式等)	2		計	12
計	12			

## 教 育 訓 練 計 画 (総括表)

教 育 課 程		教 育 実 施 期 間		入 校 対 象 者	
		日数	時 期		
消 防 職 員	初 任 教 育	164	H27.4.8～H27.9.18	新たに採用された消防職員	
	専 科 教 育	警 防 科	12	H27.10.19～H27.10.30	警防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		火 災 調 査 科	12	H27.9.28～H27.10.9	火災調査業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		危 険 物 科	5	H27.11.30～H27.12.4	危険物業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
		救 急 科	52	H28.1.6～H28.2.26	救急業務に従事しようとする者
		救 助 科	29	H27.10.1～H27.10.29	35歳以下の救助業務に耐えうる体力を有している者
		特 殊 災 害 科	9	H27.11.11～H27.11.20	警防及び救助業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防士長以上の階級にある者
	幹 部 教 育	9	H27.7.23～H27.7.31	55歳以下の消防司令以上の階級にある者	
	特 別 教 育	消防操法指導員講習	2	H27.5.7～H27.5.8	消防士長以上の階級で、訓練礼式・消防操法を担当する者
		救急特別講習	5	H27.12.7～H27.12.11	救急救命士養成所への入所予定者
ビデオ喉頭鏡追加講習		2	H27.11.5～H27.11.6	気管挿管資格者である救急救命士	
救急救命処置拡大追加講習		3	H27.11.25～H27.11.27	薬剤投与認定救急救命士	
消 防 団 員	基 礎 教 育	2	H28.3.5～H28.3.6	団員の階級にある者	
	幹 部 教 育 指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	2	H28.2.27～H28.2.28	分団長、副分団長の階級にある者	
	特 別 教 育	女性消防団員教育	2	H27.11.7～H27.11.8	秋田県消防協会の推薦による女性団員
		日消指導員教育	2	H27.11.28～H27.11.29	団員の教育訓練を担当する者
	現 地 教 育	現 地 教 育	(内容・時間数について、地域の実情を勘案して実施)		市町村長等の推薦による団員
		一 日 入 校 教 育	(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		市町村長等の推薦による団員
そ の 他	そ の 他 入 校 教 育	(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		各種団体等の要請による	

# 平成二七年春の叙勲・褒章 第二四回危険業務従事者叙勲

平成二七年春の叙勲・褒章及び第二四回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、消防関係の本県受章者は叙勲二一名、危険業務従事者叙勲八名、褒章二名の方が受章されました。誠にありがとうございます。

(記載は五十音順)

## 平成二七年春の叙勲

### ◆瑞宝単光章(二一名)

- 元大森町消防団 分団長 赤川 榮悦
- 元秋田市消防団 副団長 阿部 八十一
- 元横手市増田消防団 副団長 石山 利則
- 元大仙市消防団 副団長 伊藤 作十郎
- 元北秋田市消防団 副団長 五代儀 博紀
- 元西木村消防団 副団長 江橋 幸
- 元横手市消防団 分団長 大山 昇
- 元秋田市消防団 副団長 加賀屋 金雄
- 元秋田市消防団 副団長 柏谷 勲
- 元大仙市消防団 分団長 河越 昭夫
- 元角館町消防団 分団長 草彥 豊

## 第二四回危険業務従事者叙勲

### ◆瑞宝双光章(六名)

- 元能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防監 佐藤 秋夫
- 元秋田市消防本部 消防司令長 鈴木 孝一
- 元鹿角広域行政組合消防本部 消防司令長 田中 孝夫
- 元横手市消防本部 消防監 中山 榮治

- 元雄和町消防団 副団長 酒井 善重郎
- 元大内町消防団 副団長 佐々木 武二
- 元大仙市消防団 副団長 佐藤 弘一
- 元平鹿町消防団 副団長 佐藤 義昭
- 元羽後町消防団 分団長 菅野 辰男
- 元雄勝町消防団 副団長 鈴木 清春
- 元湯沢市消防団 副団長 高橋 正
- 元阿仁町消防団 分団長 西根 欽一
- 元河辺町消防団 副団長 松田 信一
- 元秋田市消防団 副団長 水澤 勤

元由利本荘市消防本部

消防司令長 長谷部 吉雄

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 三春 廣義

### ◆瑞宝単光章(二名)

元横手市消防本部 消防司令長 笹山 隆雄

元秋田市消防本部 消防司令長 相馬 潔

## 平成二七年春の褒章

### ◆藍綬褒章(二名)

八郎潟町消防団 分団長 北嶋 透志雄

大潟村消防団 副団長 松橋 稔

## 新消防長紹介



秋田市消防本部 森合和美



男鹿地区消防一部事務組合消防本部 浅井 学



湖東地区行政一部事務組合消防本部 高橋 敏明



五城目町消防本部 佐々木 重義



由利本荘市消防本部 畠山 操



横手市消防本部 大石 義孝



湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 高橋 禎悦

## 新消防団長紹介



横手市横手消防団 富田 昭



横手市増田消防団 平良木 保



横手市平鹿消防団  
菅原 一太郎



横手市大森消防団  
菊池 二郎



横手市十文字消防団  
細川 祐一

### 「いきいき消防」への

### 掲載記事募集

公益財団法人日本消防協会

公益財団法人日本消防協会では、消防団員の方々を対象に、年四回発行する「いきいき消防」の掲載記事である「消防団員物と心の交流広場」の寄稿を次により募集しています。

一 発行日・・・年四回

夏季号 七月一日(五月三二日)

秋季号 十月一日(八月三〇日)

新春号 一月一日

(十一月二十九日)

春季号 四月一日(二月二八日)

※( )は、現行締切日です。

二 寄稿の資格及び内容

(一) 消防団員個人の寄稿であること。

(二) 各地の特産品、園芸品、農産物、民芸品、食料品、その他必要物品等を直接生産、製造されている方。

(三) 安価に全国の消防団員に提供できるもの。(数量を限定してもよい)

(四) 季節の物品については、掲載の時期及び販売できる期間等を指定すること。

(五) 商品の宣伝文句は、五〇字程度とする。

(六) 寄稿者の所属消防団員名、氏名を記載すること。

(七) 住所、電話番号、ファックス番号などの連絡先を記載すること。

(八) 商品と寄稿者のカラー写真を添付すること。

(九) 消防団員等の直接注文に生産者等が責任を持ち注文者に発送すること。

三 原稿提出先

秋田県消防協会に、様式「消防団員物と心の交流広場」を提出してください。

※様式は、当協会にあります。

四 問い合わせ先

公益財団法人日本消防協会福祉部 小林晃昌又は当協会まで。

## 消防互助会審議委員会

### 一二六件の見舞金・祝い金を贈呈

秋田県消防協会消防互助会審議委員会は、四月二四日(金)六名の委員が出席し、秋田市の「ルポールみずほ」で開催しました。

消防互助会は、協会の目的及び事業の円滑な推進に寄与するため、会員相互の共存共栄及び親睦融和を図るとともに、消防士気の高揚を図ることを目的に、罹災見舞金や弔慰・傷癒見舞金、結婚祝い金の贈呈などを行う事業で、平成二三年度から実施しています。

今般の審議委員会は、最初に委員

長の選出が行われ、委員の互選により上小阿仁村消防団の北林義高団長が選出されました。

引き続き、北林委員長が不在のため佐々木謙吉委員が議長となり、平成二六年度消防互助会決算や平成二七年度消防互助会予算などを審議しました。

平成二六年度は前年度と比較して加入者が五七人減少しましたが、結婚祝い金は九一件(前年度比九件増)の実績となりました。

### 平成26年度消防互助会見舞金等の贈呈状況

見舞金等の種類	件数(件)	金額(千円)
罹災見舞金		
住家全焼・全壊	2	200
住家半焼・半壊	3	120
非住家又は家財焼失・損壊	1	10
小計	6	330
弔慰・傷癒見舞金	19	190
結婚祝い金	91	910
合計	116	1,430
【参考】消防互助会加入者数	18,889人	

### 消防互助会審議委員名簿

平成27年4月現在

委員長	委員	消防団	役職
北林 義高	上小阿仁村	消防団	団長
成田 俊昭	小坂町	消防団	団長
小山 初美	藤里町	消防団	団長
遠間 富和	井川町	消防団	団長
斎藤 正俊	秋田市	消防団	副団長
今野 文夫	由利本荘市	消防団	副団長
高橋 正尚	美郷町	消防団	団長
富田 昭	横手市横手	消防団	団長
佐々木 謙吉	東成瀬村	消防団	団長

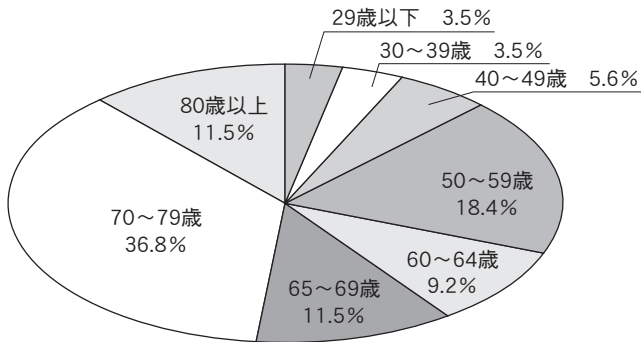
任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

### 山岳遭難事故の発生状況

		H23	H24	H25	H26
合 計	件 数	68	89	70	67
	遭難者数	74	103	93	87
	うち死亡	11	14	9	14
登 山	件 数	4	7	10	18
	遭難者数	5	7	11	33
	うち死亡	-	2	1	3
山菜取り	件 数	45	57	29	32
	遭難者数	50	63	41	36
	うち死亡	8	4	2	5
きのこ取り	件 数	8	16	15	11
	遭難者数	8	16	18	12
	うち死亡	-	4	-	5
そ の 他	件 数	11	9	16	6
	遭難者数	11	17	23	6
	うち死亡	3	4	6	1

\* 「その他」は森林伐採、溪流釣り等の事故

### 平成26年山岳遭難 年代別発生状況



消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

## 株式会社 高 義 商 会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 秋田県山岳遭難 防止対策協議会

山菜採りが遭難の四八%を占める

平成二七年度秋田県山岳遭難防止対策協議会(会長・堀井啓一秋田県副知事)総会が四月二三日(木)、秋田県庁第二庁舎で開催され、平成二六年山岳遭難事故発生状況の報告などが行われました。

山岳遭難事故報告によると、発生件数は六七件、うち山菜採りが三二件で四八%を占め、遭難者数は八七人、うち六五歳以上の高齢者は五二人で六〇%となっております。

### 入山者の皆さんへ

#### 山菜採りに行くときの注意・装備品の注意

- ①一人で山には入らないで、家族(又は知人)に行き先を告げる
- ②自分の体力、体調にあった行動をとる
- ③知らない山には入らない
- ④天気予報・気象情報を確認してから出かける
- ⑤予備の食糧、雨具、着替え、ライター、熊鈴、ラジオ、笛などを持つ
- ⑥携帯電話(電波の届く場所を確認する)
- ⑦服装、所持品は目立つ色にしましょう
  - ・自然界に無い色の物を着用・持参しましょう
  - ・搜索する側から目立つ色は白色
  - ・白いタオルを持参して入山して下さい

#### 入山の注意・登山の注意

- ①声を掛け合い、お互いの居場所を確認して同行者と離れない
- ②方向を見失わないようにする
- ③無理をせず早めに切り上げ、明るいうちに下山する

#### もし、迷ってしまったら

- ①むやみに歩き回らない  
(沢や崖などに転落してしまう場合があります)
- ②雨風を防げる場所で救助を待つ
- ③明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待つ
- ④搜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所に移動して、目立つ色の着衣、雨具、タオル等を振って自分の居場所を知らせる

## 株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880

### (営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース  
トーハツポンプ | シバウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

# 支部情報アラカルト

## 『高齢者世帯立入検査』を実施

横手市消防本部

近年、全国的に住宅火災の件数は減少傾向で推移していますが、火災による死者のうち、六五歳以上の高齢者の割合は逆に増加傾向であり、その中でも、七五歳以上の後期高齢者の割合が高くなっています。

横手市では、今年三月末で九件の住宅火災が発生し、すでに三人の方が亡くなられています。全て高齢者



立ち入り検査の様子 ①

であり、そのうち二人が後期高齢者となっております。

今、今後さらに高齢化が進み火災による死者の増加が懸念されておりま

す。この状況を鑑みて、横手市消防本部では、高齢者世帯の火災予防及び死者の低減を図るため、横手市社会福祉協議会と合同で、三月と春の火災予防運動期間中に高齢者世帯の立入検査を実施しました。



立ち入り検査の様子 ②

高齢者世帯を最優先とし、ストーブやガスコンロなどの火気使用箇所の点検や、住宅用火災警報器などの啓発の他、まだ豆炭などを使用しているお宅には、より安全な電気製品への切替など住宅防火対策の必要性を再確認していただきました。

今後も継続的に高齢者世帯の立入検査を実施し、火災による死者の低減に努め、幸せな地域社会の実現を目指して参ります。

〔情報提供 横手市支部〕

### 火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成27年		平成26年			同期比較	
	4月	累計	4月	累計	年計	4月	累計
建 物	19	76	22	91	199	- 3	-15
林 野	16	17	30	30	46	-14	-13
車 輛	2	13	2	12	29	0	1
その他	10	17	31	34	77	-21	-17
合 計	47	123	85	167	351	-38	-44
死者数	3	18	1	18	35	2	0
負傷者数	5	37	8	37	61	- 3	0

### 「消防団情報館」へ掲載する情報の募集

公益財団法人日本消防協会では、消防団に対する認識を一層深めていただくことを目的に、日本消防協会ホームページに「消防団情報館」を開設しております。

各市町村が行っている消防団員募集、消防団活動に関する情報、あるいは訓練等の動画データ、広報紙などを掲載していただくことで、充実した「消防団情報館」にしていきたいと考えております。

未登録の消防団につきましては、掲載する情報をご提出していただきますようお願いいたします。

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651